秋衛だより

秋衛発２６－２号　令和８年１１月

会長挨拶

秋田はすっかり晩秋の薫りに包まれ、白鳥の姿も見られる季節となりました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より本会の活動に対し温かいご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

この度の診療報酬改定で口腔機能実地指導料が算定可能となってから数ヶ月が経ちましたが、皆様の日常業務や現場での実感はいかがでしょうか？

本会で開催いたしました施設基準対応の研修会は、おかげさまで大変多くの皆様にご参加いただき、大盛会となりました。皆様の熱心な姿勢に、私自身も大きな刺激と元気をいただいた次第です。

また、本年度も三歯会（歯科医師会・歯科技工士会・歯科衛生士会）合同研修会が実施され、互いの連携と顔の見える関係性をより一層深める機会となりました。こうした強い繋がりは、私たち歯科衛生士が診療室や地域で専門性を発揮するための大きな後押しになるものと思います。

これからも、学び・やりがい・安心を支える歯科衛生士会として、会員の皆様と共に活動をしてまいりたいと存じます。

日に日に寒くなりますが、秋の実りで栄養を蓄え、元気に冬を迎えましょう！

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人　秋田県歯科衛生士会

会長　村田　薫

会の流れ

6/7　　歯科技工士フェア　大森山動物園
6/14　　明治安田「こどもシゴト博 2026 in 秋田」
7/2　　小児保健会理事会　村田会長
7/5　　第１回秋田県歯科衛生士会研修会　/　DH カフェ in 秋田市
7/15　　第１回歯科保健医療提供体制構築推進検討会　村田会長
7/15　　第１回災害時等歯科保健医療提供体制検討会　村田会長
7/26　　第２回理事会
8/1.2　　すこやかあきた
8/23　　三歯会合同研修会　スタッフセミナー
8/27　　秋田県歯科医療専門学校　学校関係者評価委員会　村田会長
9/7　　秋田県健康づくり県民運動推進協議会総会　村田会長
9/12　　秋田県歯科医療専門学校　宣誓式　村田会長祝辞
9/13　　第３回理事会
9/19　　日本歯科衛生士会全国病院歯科衛生士連絡協議会　羽崎理事



9/24　　第２回歯科保健医療提供体制構築推進検討会　村田会長
9/24　　第２回災害時等歯科保健医療提供体制検討会　村田会長
9/27　　口腔機能実地指導対応研修会 / 第２回秋田県歯科衛生士会研修会
9/28　　秋田県歯科医療専門学校 教育課程編成委員会　　村田会長
9/29　　２１世紀の医療を守る会総会　村田会長
11/1　　サンテマルシェ
11/3　　わくわくマルシェ
11/7　　秋田県歯科保健大会
11/8　　DH カフェ in 能代
11/19　　八郎潟小学校　歯磨き教室
11/21　　一人暮らし高齢者のふれあい昼食会 講話
11/22　　第４回理事会
11/28.29　北海道東北ブロック連絡協議会　村田会長・後藤理事
11/29　　小児保健会総会 / 特別講演会
12/6　　第３回秋田県歯科衛生士会研修会
12/10　　災害時等歯科保健医療提供整備事業 WG　村田会長・長山副会長



□■□■□■□■□■□■□ おしらせ □■□■□■□■□■□■□

☆令和８年度　第３回秋田県歯科衛生士会研修会のご案内☆

令和８年 12 月６日（日）に、DH－KEN 集合型研修会を開催いたします。
今回は、DH－KEN（e ラーニング）を利用し、以下の２つのテーマについて学びます。
・口腔機能低下症 2025 アドバンス～最新情報＆アドバンス～
・歯科における子どもの食育と口腔機能発達不全症への対応 2025～最新情報＆アドバンス～
　成人の口腔機能低下症から、子どもの口腔機能発達不全症まで、最新情報や評価・対応について学ぶ機会となっております。
【開催概要】
・日時：令和８年 12 月６日（日）10：00～12：20
・会場：秋田市市民サービスセンター　センタース３階　洋室４
・対象：歯科衛生士、歯科衛生士養成校学生、歯科医療従事者
・受講料：無料　・定員：50 名



日本歯科衛生士会第５次生涯研修の対象研修の(Ｂリフレッシュコース)で、各テーマ１単位、計２単位を取得できます。
申込締切：令和８年 11 月 30 日(月)
お申し込みは、秋田県歯科衛生士会 HP　Google フォームまたは FAX（018-862-9122）にてお願いいたします。
皆様のご参加をお待ちしております。

☆歯科衛生士賠償責任保険・総合生活保険のご案内☆

この保険制度は、日本歯科衛生士会会員の皆様を対象とした制度です。安心して業務に従事できるよう、この機会にぜひご加入をご検討ください。

【お申込み要領】

●対象　　：公益社団法人 日本歯科衛生士会の会員

●募集締切　　：2026 年 12 月 11 日(金)まで

●申込み方法　：日本歯科衛生士会の「会員専用ページ」から Web 申し込みとなります。

※会員番号・パスワードをご準備のうえ、ログインしてください。

●保険期間　　：2027 年 1 月 1 日午後 4 時～2028 年 1 月 1 日午後 4 時

※中途加入も随時受付中

●保険料お支払い：Web 申込完了後、受信するメールに記載の口座へお振込みください。

※振込先口座はお客様ごとに異なり、毎年変わります。

●保障プラン　：タイプ 1　歯科衛生士賠償責任保険＋総合生活保険(死亡・後遺障害)

例；12 か月保険期間　5,000 円

タイプ 2　歯科衛生士賠償責任保険＋総合生活保険(日常生活の保障)

例；12 か月保険期間　16,300 円

※タイプ 2 は、日常生活中のケガや熱中症、携行品の損害、個人賠償責任等も補償するプランです。

※針刺し事故等による感染症危険補償は、全タイプに付帯されています。

※中途加入の場合は、保険期間に応じて保険料が異なります。

補償内容・保険料等の詳細、お申込み・お問い合わせについては、日本歯科衛生士会ホームページをご確認ください。

□■□■□■□■　報　告　■□■□■□■

☆6 月 7 日（日）歯科技工士フェア in 大森山動物園☆



6/7(日)大森山動物園で開催された歯科技工士フェアにおいて、来園者を対象に歯みがき指導を実施した。

指導用模型や指導用歯ブラシを使用し、実際の歯ブラシも用いながら、一人ひとりの年齢や理解度に合わせて歯みがきの重要性や磨き残しやすい部位について説明した。

活動を通して、小学生以上では想像以上に口唇が開いたままの「お口ポカン」の状態が見られる子どもが多く、口唇の乾燥や上顎前歯部の磨き残しが目立つ傾向があった。一方、未就学児では、保護者が日頃から仕上げ磨きや口腔ケアに積極的に取り組んでいる家庭ほど口腔内が清潔に保たれていることが多く、家庭での関わりの重要性を改めて実感した。

今回の活動では、対象者に合わせた伝え方を工夫することで、歯みがきの必要性を理解してもらいやすいと感じた。今後も年齢や生活背景に応じた指導を心掛け、保護者への情報提供も含めた予防啓発に努めていきたい。

（記：日沼 遥）

☆明治安田「こどもシゴト博 2026 in 秋田☆



6/14　11：00～16：00　秋田県立武道館

明治安田が主管となり、子供向けの体験型ワークショップのイベントが開催されました。このイベントは、事前申し込み制で 1200 名の親子が参加し、医療・警備・百貨店・消防・マスメディアなどの企業や団体が出展しました。歯科のブースでは体験 204 名、歯科相談 34 名で、たくさんの参加者に楽しんでいただきました。

子どもたちは白衣を身にまとい、机に設置されたマネキンの額模型をのぞき込むと、ミラーと歯ブラシを使って虫歯菌に見立てた歯牙に貼ったシールを一生懸命磨いてくれました。シールを取るためにはどう磨いたらいいか考えながら細かく動かしたり、角度を変えたり工夫しながら行っている姿には未来の歯科医師や歯科衛生士を見ているようで大変嬉しく思いました。

今後もこのような活動や交流を通して、歯科保健活動を展開し、貢献ができたらと思います。（記：柴田　百合子）

……

☆秋田県歯科衛生士会　DH　カフェ in　秋田市☆



会場　　秋田魁新報社さきがけホール
実施日　　令和８年７月５日（日）　10 時～12 時
参加者数　　歯科医師１名
　　歯科衛生士１６名

DH カフェテーマ：口腔機能実地指導　（※３グループに別れてのグループワークを実施）

【A グループ】テーマ：気付き

～治療やメンテナンスで来院する患者さんに接する中で、口腔機能面で「おや？」と思うことはありましたか？～

→スケーリング時に水をためていられない人、開口できず印象がとりにくい人、圧痕が見られたりするなど様々なことを患者さんに話す時間が足りなすぎる。口腔内の問題に関心が薄く理解がされにくいのに加えて、自分自身の口腔機能が低下していることをわかっていない人が多い。など

【B グループ】テーマ：温度差

～あなたや周りのドクターの口腔機能管理への関心は　如何ほどか～

診療報酬改定からひと月がたち、自分やスタッフの変化はありますか？

→Dr の関心は薄い。スタッフ間でも温度差がある。医院の方針がまだよく決まっていないため、どう進めていいかわからない。Dr・DH ともに力不足を感じる。法改正に間に合っていないなど

【C グループ】テーマ：期待

～各分野での歯科衛生士への期待が高まっていますが、あなたはどの分野で活躍したいですか？～

→DH　がもっと活躍できる場所か欲しい。（レントゲンのスイッチ問題。浸麻など）県内に歯学部がないので新しい知識を学べる機会がそもそも少ない。

☆第１回秋田県歯科衛生士会研修会☆



会場　　秋田魁新報社さきがけホール
実施日　　令和８年７月５日（日）13 時 30 分～16 時 10 分
参加者数　歯科医師２名、歯科衛生士３４名（フリーランス１名・在宅４名・病院勤務２名・歯科衛生士学校勤務２名・歯科医院勤務１８名・介護施設勤務２名自治体勤務４名・歯科医師会勤務１名）、歯科助手１名

テーマ：「口腔機能ってなんのこと？」基本を知ろう！口腔機能評価を自分の指導に落とし込むために大切なこと
講師：歯科医師　たんぽぽ歯科クリニック医院長　大瀧祥子先生



たんぽぽ歯科クリニック院長の大瀧祥子先生をお招きし、口腔機能評価を日常指導へ展開する重要性を学びました。口腔機能は生活の質に直結する役割を担います。口腔機能発達不全症や低下症の病態を整理し、評価から指導へのつなげ方をディスカッションしました。機能低下はフレイルや低栄養を引き起こすため、歯科衛生士が全身状態や生活環境まで総合的に捉え、早期対応を行う意義を再確認しました。

また、健口くんを用いたオーラルディアドコキネシス測定や舌圧測定器での相互実習も実施。体験を通して測定手順や注意点を共有し、実践的なスキルと評価視点を養う貴重な機会となりました。

今回、普段なかなか使用する機会のない測定機器を実際に体験できたことが、とても印象に残りました。診療報酬改定を機に、今後は日常の診療でも測定機器を活用する機会が増え、患者さんの口腔機能の評価や適切な指導につながっていくことを期待したいと思います。

☆子育て応援団すこやかあきた 2026☆



令和８年８月１日（土）・2 日（日）９：00～16：00
全体来場者数 23,004 名 / 歯科相談者数 254 名

私たち歯科衛生士会の担当ブースでは、例年通りロッテのチェックガムを用いた咀嚼力チェックやフッ化物洗口体験（オラブリス使用）、個別の相談に応じたブラッシング指導を行いました。

中でも意外なほど大人気だったのが、集団指導用の大きな額模型を使ったブラッシング体験です。子どもたちが夢中になって大きな歯ブラシを熱心に動かし、なかなか離そうとしない姿が印象的でした。

また、ガムによる咀嚼力チェックも大好評で、両日 100 個ずつ用意していたガムが、2 日目の途中で終了してしまうほどでした。ガムを噛んでいる 1 分間を利用して、年代に応じたよく噛むことの重要性を、いかに簡潔に分かりやすく伝えるか試行錯誤を繰り返しながら説明したことは、学びの多い貴重な経験となりました。

アンパンマンやお母さんといっしょのお兄さんやお姉さんの楽しいステージショーのついでに、気軽に歯科ブースへお立ち寄りいただいたように、日常の歯科通院においても地域のみなさまにとって構えず通える身近なものとなるよう、今後も啓蒙活動を続けたいと思います。

（記：山口 柳子）

☆令和８年度　三歯会合同研修会「スタッフセミナー」☆



2026年8月23日　秋田県歯科医師会館10：00～12：30
講師　小林　明子先生
演題　歯周治療から実現する三位一体の連携
～三歯会から始めるブラッシュアップ～



アンケート結果

【非会員】

＊三位一体、普段からコミュニケーションをとって診療することをさらに大切に患者さんの為に続けていきたいと思いました。とても分かりやすく、日常、補綴のマージンの立ち上がり、PCのしやすさ等、実践を今まで以上していきたいと思います。とても内容の濃い勉強会で、また小林先生の御講演お願いしたいと思いました。ありがとうございました。
＊歯科衛生士として仕事をしていますが、技工士さんが補綴物の製作などについて印象する際、注意してほしい所など、しっかりと話を聞くタイミングがないので、小林先生の講演を聞いて改めて患者さんと直接触れている私達が、注意する所や確認しなければいけない所が理解できました。「補綴物を製作してほしい。」と印象した時の中で、適合した補綴物を製作してくれるのが、とても尊敬すると思いました。
＊小さな（幼い）頃から管理を始め、それを継続し管理していく事が必要な事がわかった。継続して来院していただくために知識・スキルUPが必要だし、DrやDTとのカンファレンスも大切だと思った。

【会員】

＊補綴に関する内容は特に興味深く拝聴させて頂きました。
技工士さんと仕事の話（患者の健康について）をすることがないので、技工士さんの業務・大変さも理解できました。
＊小林先生のお話の中で「今後は予防ができる歯科衛生士が多々必要になる」という言葉がとても刺さりました。まだまだ秋田は治療型の医院が多い中で、そのような歯科衛生士さんを育てる環境が必要と感じました。今回は三位一体の立場からの症例等を通して視点を変えて考え、学ぶことができました。ありがとうございました。
＊様々な角度から三位一体の連携について学ぶことが出来、大変勉強になりました。

☆口腔機能実地指導対応研修会☆

令和８年９月27日、秋田テルサにて秋田県歯科衛生士会主催による口腔機能実地指導料対応研修会がハイブリッド形式で開催されました。研修の目的は、令和８年度の診療報酬改定で新設された「口腔機能実地指導料（46点）」の施設基準を満たすと共に歯科衛生士が小児から高齢者までの口腔機能を適切に評価、指導できる知識と技術を習得する事で、「口腔機能発達不全症」と「口腔機能低下症」について二部構成で実施されました。



第一部は、なかいちこども歯科クリニック院長　氏家隼人先生による演題「口腔機能発達不全症への対応」で、小児期において食べる、話す、呼吸する等の口腔機能の状態が年齢相応考え、問題に気づき必要な対応につなげることを解説して

いただきました。検査方法（リットレメーター、舌圧測定器）、指導方法（姿勢、あいうべ体操、うがい、ポッピング）を学ぶと共に実践における具体的なアプローチの仕方を習得することができました。

第二部は、武田歯科医院院長　武田瞬先生による演題「口腔機能低下症へのアプローチと実地指導の第一歩」で、口腔機能低下症は、高齢期において加齢や疾病により口腔機能が低下した状態のこと、オーラルフレイルが進行して診断名がついたものであることを確認しました。用意された 7 つの検査項目（咬合力低下、舌口唇運動機能低下など）のうち 3 項目以上に該当することで診断名がつく点、それぞれの検査方法（舌苔スコア、舌圧測定器、ODK など）・検査器具の使い方・注意点を解説して頂き、基準値を理解しました。指導は、低下が認められた項目に合わせて行う必要があるとの説明がありました。今回の研修により実地指導や算定要件の具体的なイメージをつかむことができました。



始めのステップとして、先ずは院内のスタッフと連携を取り、準備等について一緒に考えて行きたいと思います。 研修会には総勢 95 名の参加がありました。　（記：工藤　紀恵）

▸▸▸午後の部　第 2 回秋田県歯科衛生士会研修会　実習(検査機器の使い方・指導法)

午前に引き続き、秋田テルサ 3 階第 4 会議室にて、「検査機器の使い方・指導法」をテーマに後藤忍理事を講師とし、実践的な演習を行いました。参加者 24 名に藤原会長にも参加して頂きました。検査機器の使い方を動画で見ながら説明して頂き、それぞれの指導の仕方を学びました。その後、4 グループに分かれて、検査機器を使用し相互実習を行いました。



＊　口腔内細菌カウンタ
＊　口腔水分計ムーカス
＊　口腔機能モニターOramo-bf(オラモ)
＊　健口くん
＊　舌圧測定器(TPM-02E)

また、咀嚼能力検査装置グルコセンサーに使用する検査用グミを実際に体験してみました。
視診による TCI、嚥下機能低下のスクリーニング検査など、「口腔機能低下症」の 7 項目すべてを網羅できました。該当項目 3 項目以上で「口腔機能低下症」と診断するため、実際の検査機器に触れながら、検査の取り扱いや実施方法、指導につなげるためのポイントについて学ぶ貴重な機会となりました。楽しく実習ができ、あっという間に時間が過ぎました。この場をおかりして、この検査機器をお貸しくださった藤原会長にお礼申し上げたいと思います。このような機会をくださりありがとうございました。　（記：小武海明美）

編集後記：今年も残すところあとわずかとなりました。秋も深まり、紅葉が見ごろを迎える季節となりました。秋田市内でも先日はあられが降り、山間部では雪の便りも聞かれるようになりました。今年はゆっくり紅葉を楽しむ間もなく、冬がやってきそうです。本号を通して、本会の活動や研修会での学びを感じていただけたでしょうか？これからも会員の皆様に親しんでいただける広報誌をお届けしていきたいと思います。寒さが厳しくなりますので、どうぞ暖かくしてお過ごしください☆

